

令和6年度 未来づくり人材・関係構築事業支援業務プロポーザル方式 審査項目及び配点(採点基準表)

1. 企画書・実施体制評価

審査項目	評価項目	評価事項	配点	特に良い	良い	普通	やや劣る	劣る
①企画提案書	ヒアリングなどで対象者の思いを引き出す能力や工夫が感じられる提案か	実績や能力があるか	20	10	8	6	4	2
		目的を果たすための工夫が提案されているか		10	8	6	4	2
	実現したい思いを持った人へのアドバイスや支援が可能な提案か	様々な方面に対するアドバイスが可能な能力を有しているか	30	10	8	6	4	2
		適した相手方へ繋がりを持つネットワークを有しているか		10	8	6	4	2
		相手の考えを客観的に分析し、相手にもそれを伝えられる能力を有しているか		10	8	6	4	2
	若い世代の人材育成に資する提案か	当事業を行う事で対象者の生きがいや人材育成に資する事が見込めるか	20	10	8	6	4	2
		当事業を行う事で、当事者以外の若い世代など波及効果が得られる事が見込まれるか		10	8	6	4	2
	当業務において、独自の提案がなされ、かつ実現可能な提案か。	提案の的確性	10	5	4	3	2	1
		提案の実現性		5	4	3	2	1
	工程計画が明確で実現性のある提案となっているか。	工程計画の明確性と実現性	5	5	4	3	2	1
業務量に見合った人材・人員を配置しているか。	計画策定の支援体制	10	10	8	6	3	1	
②事業費の妥当性	企画提案書の内容は、事業費と比較して妥当か。	事業費の妥当性	5	5	4	3	2	1

- 総合点数が満点の60%に満たない場合は受託候補者および次点候補者に選定しないものとする。
- ②の事業費の妥当性の評価については、見積金額が予定価格の80%未満の場合が「特に良い」、80%以上85%未満の場合が「良い」、85%以上90%未満の場合が「普通」、90%以上95%未満の場合が「やや劣る」、95%以上の場合が「劣る」とする。